

～戦争と平和を考える。ベトナム戦争従軍記者から50年～

元戦場カメラマン 石川文洋 「講演会 & 写真展」



下落合コミュニティセンター 3階 (JR京浜東北線与野駅西口2分)

10月27日(火) 18時(開場)～20時半 (終演)

★講演会「戦争法で見える日本のこれから」

3階多目的ルーム 参加費600円 (賛同人の方は無料)

10月23日(金)～27日(火) 10時～19時

★写真展「戦争と子ども」鑑賞無料 3階ロビーにて



『軍隊は抑止力にならない。むしろ軍隊がいるから戦争になる。ベトナムや沖縄を半世紀にわたり取材した私の持論です。』

ベトナム戦争で戦場の写真を世界に伝えた石川文洋氏。50年たった今、「ベトナム」「故郷、沖縄」をめぐるドキュメンタリー「石川文洋と旅する」全国で公開中。

辺野古基金の共同代表を宮崎駿氏や鳥越俊太郎氏らと務めている。辺野古の現状を講演会、写真展を通じて伝えている

「石川文洋」プロフィール

沖縄県那覇市生まれ、5歳の時に家族で沖縄から本土へ移る。千葉県育ち。1965～68年、ベトナム共和国の首都サイゴン(当時)に滞在し、フリーで南ベトナム政府軍、アメリカ軍に従軍し、戦場取材をおこなった。1969年から朝日新聞社出版局写真部勤務。1984年から再度フリーに。ベトナム戦争の従軍取材による多数の報道写真で知られるが、撮影対象のジャンルは広範囲に渡り、各国の紛争地帯での撮影のほか、人びとの日常生活、肖像写真、舞台芸能(琉球舞踊)の写真なども撮影している。ベトナムのホーチミン市戦争証跡博物館には、ベトナム戦争を中心とする約250点の写真を寄贈したことを契機として、石川の写真常設展示コーナーが設けられている。「九条の会」傘下の「マスコミ九条の会」呼びかけ人も務めている。



戦争を見つめる幼い瞳 1966年



★主催「石川文洋さいたま講演会実行委員会」 連絡先 さいたま市浦和区上木崎 2-2-12 荒畑方
荒畑 090-3779-1507 marahata@amber.plala.or.jp 山田 090-4600-1027 chizuko0913@aol.com

郵便振替 00190-3-136604 名義 荒畑勝